

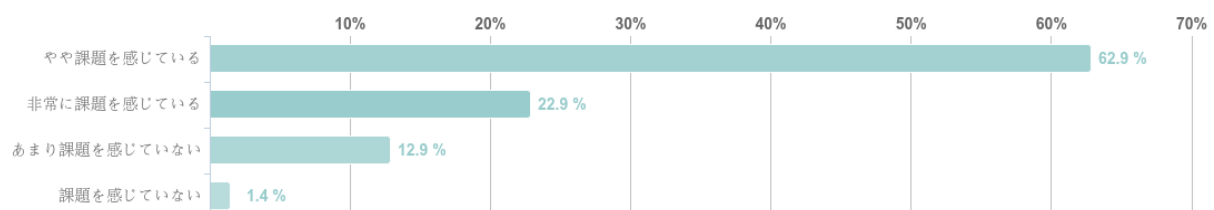
2026 年 7 月アンケート(2026 年 7 月 1 日～7 月 31 日実施)

学生とのコミュニケーションにおける課題に関するアンケート

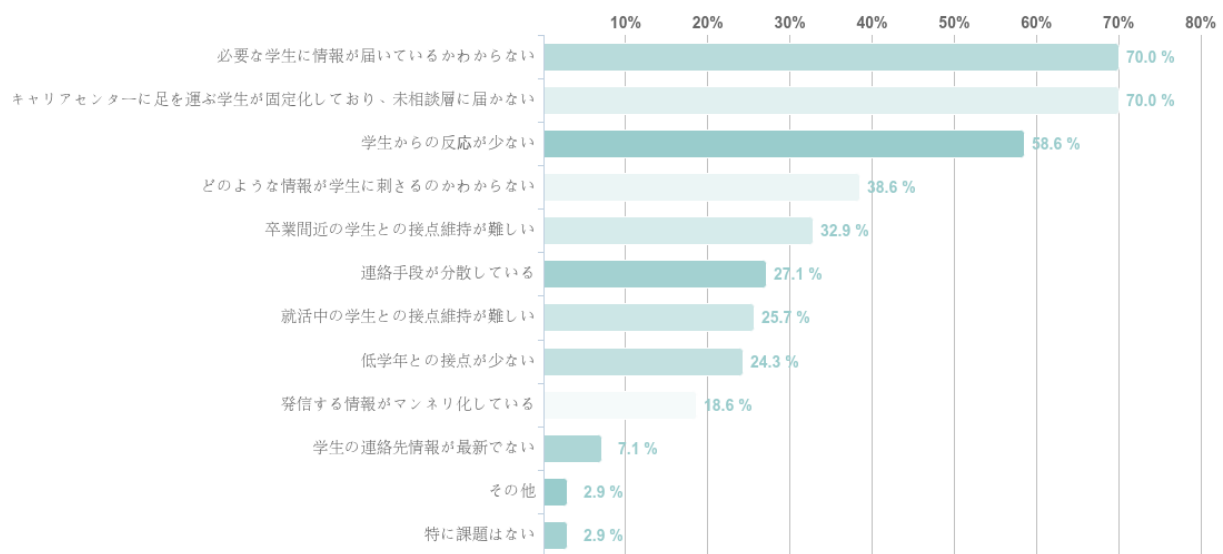
ここ数年「学生の動きが見えない」という学校様の声をよく聞きます。はたしてこの傾向は一般的なものなのか？今回のアンケートでは、「学生とのコミュニケーション」にスポットを当て、現状を把握するために皆様のご意見をお聞かせいただきました。

当月も多くの学校様にご協力いただき誠にありがとうございました。

Q. 学生とのコミュニケーションにおける現在の課題感について



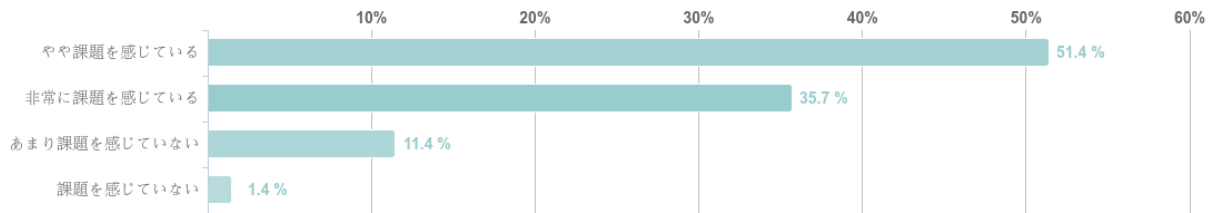
Q. 学生とのコミュニケーションにおいて課題とを感じるものについて



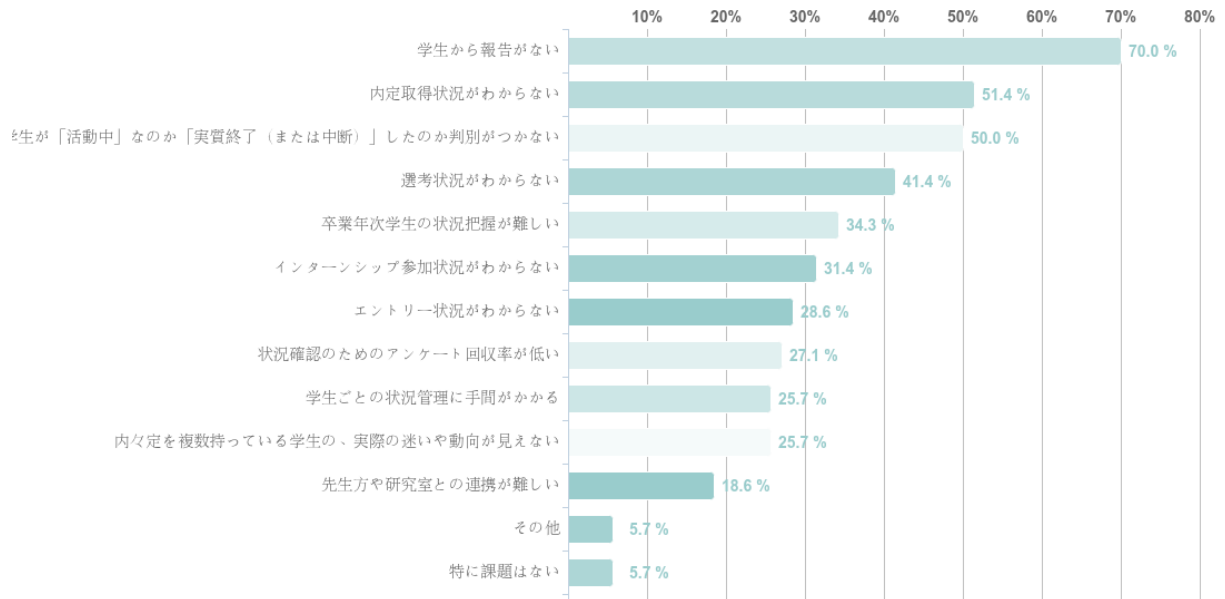
<サマリー>

学生とのコミュニケーションに課題を感じている学校様は、「やや課題を感じている」「非常に課題を感じている」を足し合わせると 85.8%。具体的には、「必要な学生に情報が届いているかわからない」「キャリアセンターに足を運ぶ学生が固定化しており、未相談層に届かない」がいずれも 70.0%、「学生からの反応が少ない」が 58.6%と半数を超えました。手は打ちつつも、その効果を測ることの難しさが浮き彫りになりました。

Q. 学生の就職活動状況把握における現在の課題感について



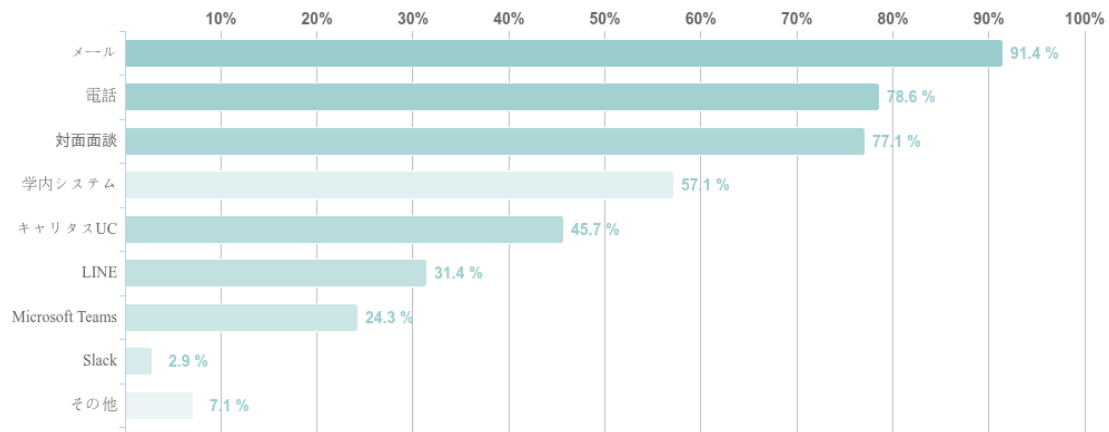
Q. 学生の就職活動状況把握における課題



<サマリー>

「学生の就職活動状況の把握」という点にフォーカスして現在の課題感を尋ねたところ、「やや課題を感じている」「非常に課題を感じている」の合計は 87.1%となりました。「学生から報告がない」が 70.0%、「内定取得状況がわからない」と「学生が『活動中』なのか『実質終了(または中断)』したのか判別がつかない」が5割を超えています。その他のものに目を移しても、「選考状況がわからない」(41.4%)、「インターンシップ参加状況がわからない」(31.4%)、「エントリー状況がわからない」(28.6%)など、コミュニケーションの課題を端緒とした、情報不足が教職員方の頭を悩ませているようです。

Q. 学生とのコミュニケーションに活用している手段について



<サマリー>

学生とのコミュニケーションに活用している手段については、「メール」(91.4%)、「電話」(78.6%)、「対面面談」(77.1%)が上位を占めました。以下に続く「学内システム」「キャリアタスUC」「LINE」も3割を超えてきており、こうした新しいツールの活用に活路を見出そうとする動きが見て取れます。

ご利用校様の声ピックアップ

当月寄せられたお客様の声をいくつかご紹介します。

機能改修等へのヒントとなりますので、ぜひ毎月のアンケートで皆様の声をお聞かせください。

<学生とのコミュニケーションや就職状況把握に関して、ご意見・ご要望>

- ・大学からの連絡が膨大になるため重要な情報も見落としがちである一方、キャリア担当から「MOS 講座」(費用大学負担)への申込や、有名企業インターンシップの学校推薦枠への応募などはすぐに予約枠が満員になるといったケースもあり、学生の情報の取捨選択がどのようになっているのかわからない。(関東/私立大学)
- ・学生にとって便利でメリットがあるツールであれば使ってくれるのではないかと考えています。AIキャリアアドバイザーなど求人紹介までしてくれるツールがあると良いと感じます。(中国/私立大学)
- ・近年の学生傾向として、プライベートや就職活動に関する自己開示を忌避する心理が目立ち、進路状況の定量的・タイムリーな把握が課題となっています。これに対し、日頃から信頼関係を構築しているゼミ教員を経由した把握ルートは、極めて実効性が高いと評価できます。(北海道東北/私立大学)

※過去の月次アンケート結果レポートはこちらから参照いただけます。

<https://support-uni.uc.career-tasu.jp/hc/ja/articles/14884930821135>